

ファンクション<注記 NOTE> 操作説明

2020年6月版

ファンクション<注記 NOTE>とは

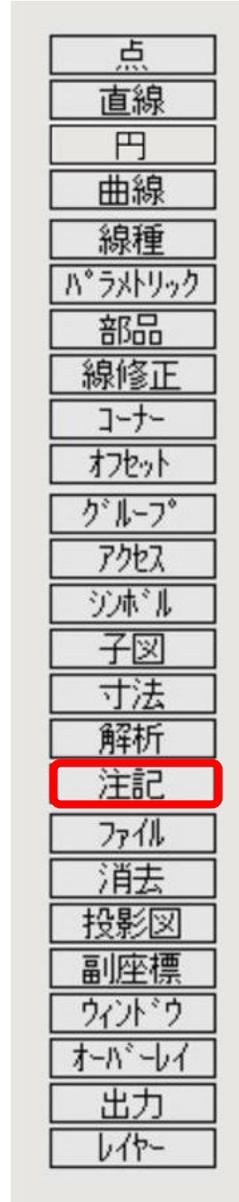
概略説明

図面を作成するときには、製品の形や大きさを表す図形だけではなく、表題欄、部品欄、使用条件、加工条件などを記入するために文字も使います。

ファンクション<注記 NOTE>では、英数字、カタカナ、ひらがな、漢字、特殊記号を記入することができます。

この項で学習すること

- ・ 注記の記入
- ・ 複数行記入
- ・ 制御文字の使い方
- ・ 箇条書き
- ・ 既存注記の複写
- ・ 既存注記の変更
- ・ EXCEL連携



注記を記入します

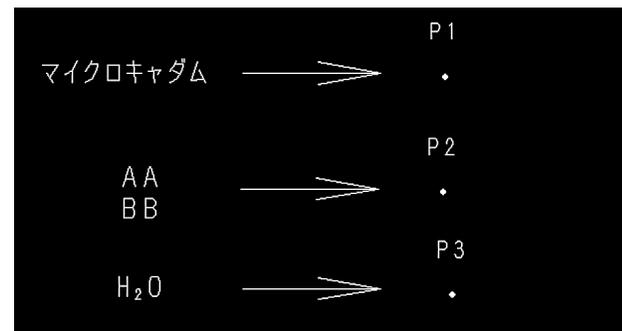
1. 図面「NOTE_BA20」を開く
2. <ウィンドウ>【1】 [図1]
3. <注記>【記入】
4. 記入位置 P1をSEL

文字の入力ダイアログが表示されます。[図2]

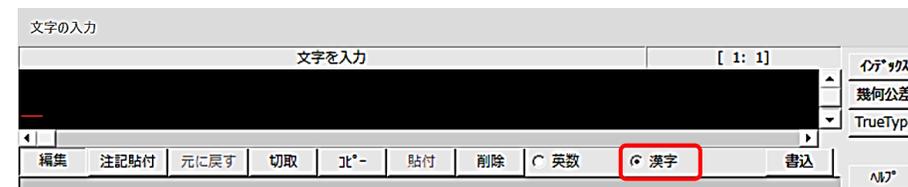
5. 「◎漢字」
6. “マイクロキャダム”をキーイン [図3]
7. 「書込」

指定した点に文字列が作成されます。[図4]

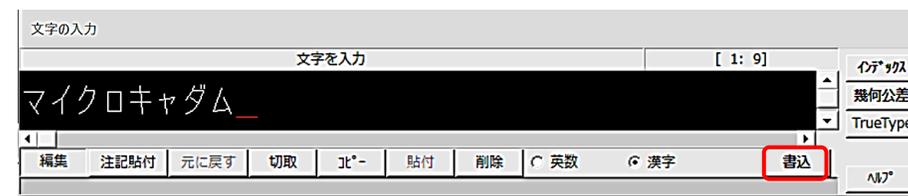
[図1]



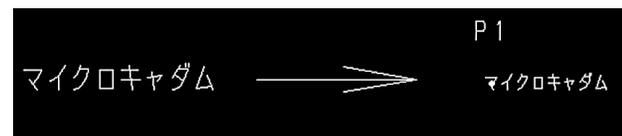
[図2]



[図3]



[図4]



複数行の注記を記入します

1. <注記> 【記入】
2. 記入位置P2をSEL [図5]

文字の入力ダイアログが表示されます。[図6]

3. “AABB”をキーイン
4. 文字入力カーソルを「AA」の直後の「B」の下に移動 [図7]
5. 「インデックス」

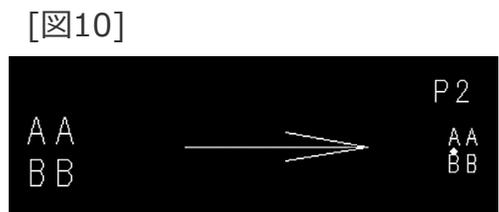
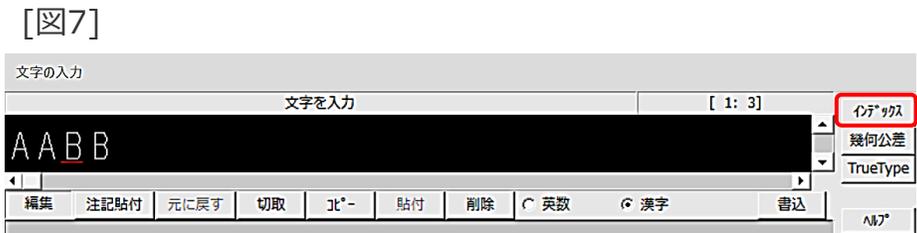
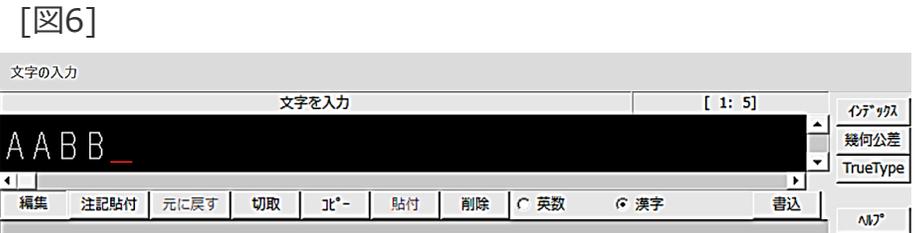
制御文字ダイアログが表示されます。[図8]

6. 制御文字一覧から「行替え」をSEL

「AA」と「BB」の間に制御文字が挿入されます。[図9]

7. 「書込」

制御文字で改行された注記が作成されます。[図10]



下付き文字を入力します

1. <注記> 【記入】
2. 記入位置P3をSEL [図11]

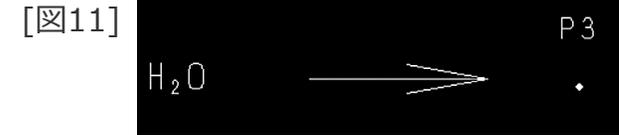
文字の入力ダイアログが表示されます。[図12]

3. "H2O"をキーイン
4. 文字入力カーソルを「H2O」の「2」の下に移動 [図13]
5. 「インデックス」

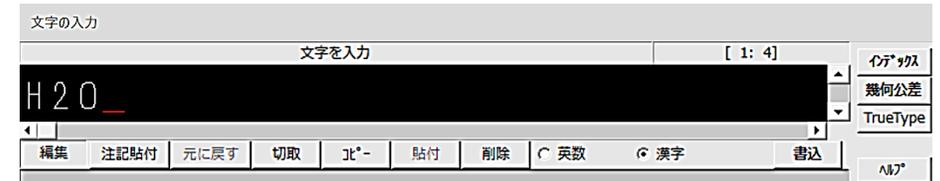
制御文字ダイアログが表示されます。[図14]

6. 制御文字一覧から「トランス文字（始） 1/2」をSEL

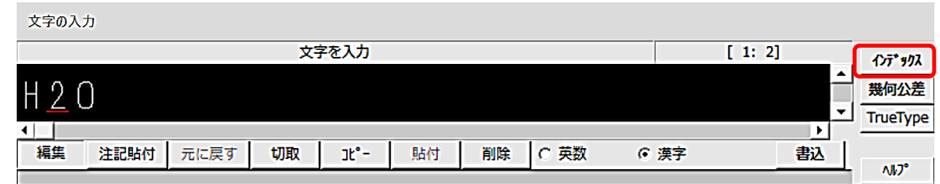
「H」と「2」の間に制御文字が挿入されます。[図15]



[図12]



[図13]



[図14]



[図15]



下付き文字の入力（制御文字の利用）

7. 制御文字一覧から「行替え（\$記号）」をSEL [図16]

「2」の前に制御文字が挿入されます。 [図17]

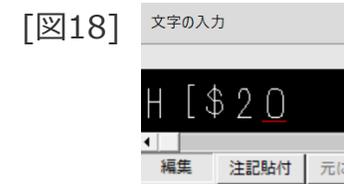
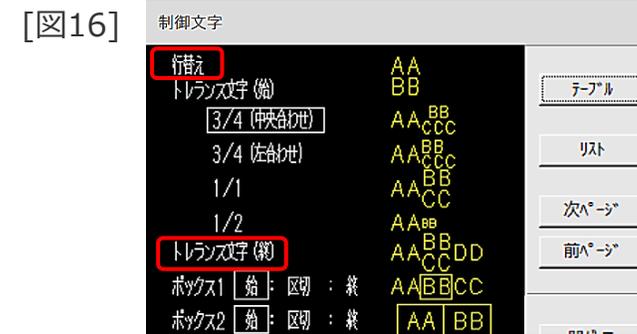
8. 文字入力カーソルを「H2O」の「O」の下に移動 [図18]

9. 制御文字一覧から「トランス文字（終）」をSEL [図16]

「2」と「O」の間に制御文字が挿入されます。 [図19]

10. 「書込」

下付き文字を含む注記が作成されます。 [図20]



箇条書きを作成します

1. <ウィンドウ> 【2】 [図21]
2. <注記> 【連続記入】
3. 注記の記入位置として、適当な位置（*① 付近）をIND
4. 記入位置の下側（*② 付近）

改行方向（下方向に自動改行）が指定されます。

文字の入力ダイアログが表示されます。[図22]

5. “1. 概要説明”をキーイン

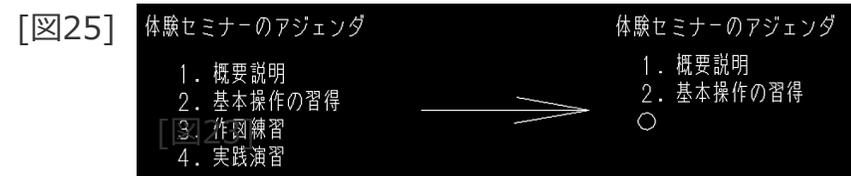
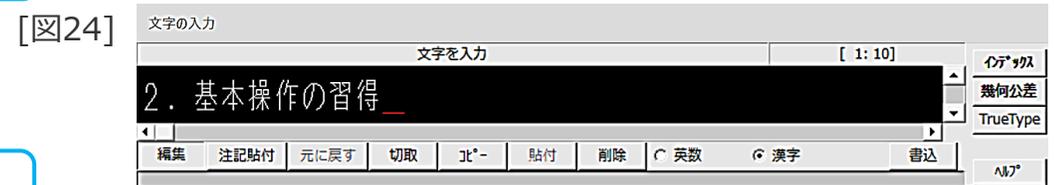
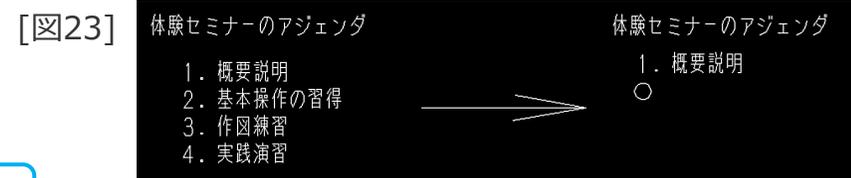
6. 「書込」

注記が作成されて、書き出し位置が自動改行されます。[図23]

7. “2. 基本操作の習得”をキーイン [図24]

8. 「書込」

注記が作成されて、書き出し位置が自動改行されます。[図25]



9.“3. 作図練習”をキーイン [図26]

10.「書込」

注記が作成されて、書き出し位置が自動改行されます。 [図27]

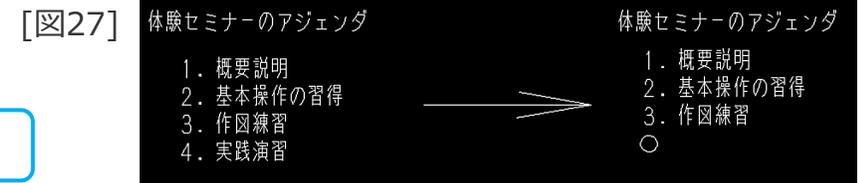
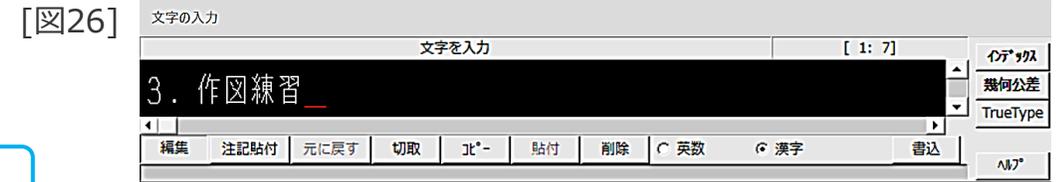
11.“4. 実践演習”をキーイン [図28]

12.「書込」

注記が作成されて、書き出し位置が自動改行されます。 [図29]

13.【連続記入】

連続記入モードを終了します。



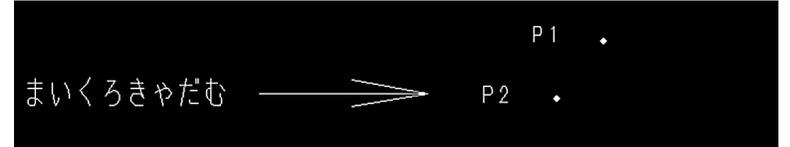
既存の注記を複写します

1. <ウィンドウ> 【3】 [図30]
2. <注記> 【記入】
3. P1をSEL
4. 左側の「まいくろきやだむ」をSEL
5. 文字高さとして、"5"をキーイン
6. P2をSEL
7. P1に作成した「まいくろきやだむ」をSEL

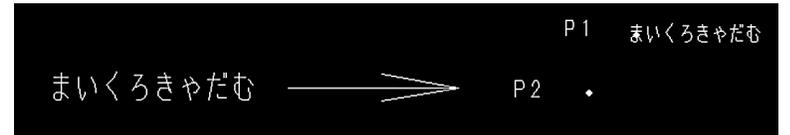
指定した位置に既存の注記が複写されます。[図31]

指定した位置に、文字高さ = 5.0mmで既存の注記が複写されます。[図32]

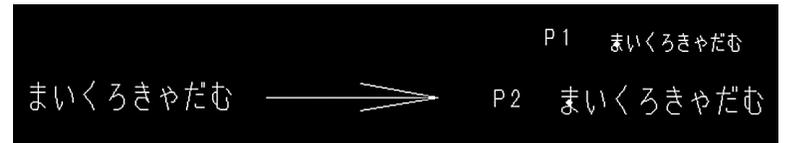
[図30]



[図31]



[図32]



文字高さ、文字線幅の変更

既存の注記の文字高さ、文字線幅を変更します

1. <ウィンドウ> 【4】 [図33]
2. <注記> 【変更】 【文字高】
3. 上側の注記「MICRO CADAM」をSEL
4. 文字高さとして、“6”をキーイン

選択した文字列の文字高さが変更されます。[図34]

5. 【文字線幅】
6. 上側の注記「MICRO CADAM」をSEL
7. 文字線幅として、“0.8”をキーイン

選択した文字列の文字線幅が変更されます。[図35]

8. 【↑】

文字線幅の表示モードを有効にしておきましょう。

1. <注記> 【表示法】
2. 「 線幅表示」をオン

[図33]



[図34]



[図35]



既存の要素を利用して注記の文字高さと傾きを変更し、注記を移動します

1. <ウィンドウ> 【5】 [図36]
2. <注記> 【変更】 【回転】
3. 「マイクロキャダム」 をSEL
4. L1をSEL

選択した注記の傾きが変更されます。[図37]

5. 【文字高】
6. 「マイクロキャダム」 をSEL
7. 「MICRO CADAM」 をSEL

選択した注記の文字高が変更されます。[図38]

8. 【移動】
9. 「マイクロキャダム」 をSEL
10. *付近をIND

選択した注記がL1の下側に沿うように移動します。[図39]

11. 【↑】

[図36]



[図37]



[図38]



[図39]



パラメータの変更

注記のパラメータを変更します

1. <ウィンドウ> 【6】 [図40]
2. <注記> 【パラメータ】

パラメータダイアログが表示されます。[図41]

3. 文字高さ/比率（右側の入力域）に“6”をキーイン [図42]
4. 文字傾度に“10”をキーイン
5. 「OK」
6. 「MICRO CADAM」 をSEL

作成した文字列の文字高さ、文字の傾きが変更されます。[図43]

- 変更したパラメータの設定は継続されます。**
 変更したパラメータを標準値に戻しておきましょう。
1. <注記> 【パラメータ】
 2. 「標準」 [図41]
 3. 「OK」



既存の注記を変更します（文字列の幅調整）

1. <ウィンドウ> 【7】 [図44]
2. <注記> 【変更】 【幅調整】
3. *①付近をIND [図45]
4. *②付近をIND
5. カラムからはみ出た注記 「AD-901180032226」 をSEL

カラムからはみ出ている文字列が、カラム内に収まるように幅調整されます。[図46]

[図44]

作成年月日	図面名	図番
2020/3/22	社内ネットワーク構成図	AD-901180032226

[図45]

	*①	*②
	図番	
図	AD-901180032226	

[図46]

	図番
図	AD-901180032226

図面にExcel の部品表を取り込みます

1. 図面「NOTE_TABLE_BA20」を開く [図47]

2. ★エクスプローラーの操作
フォルダー「MCADAM」の下にある
Excelデータ「部品表.xls」をダブルクリック

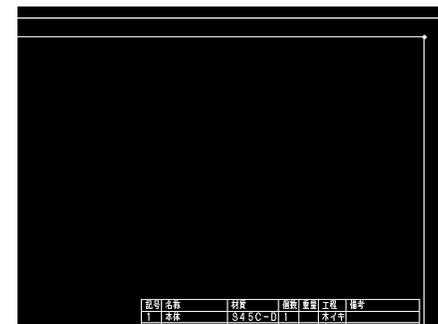
Excelが起動し、「部品表.xls」が開きます。[図48]

3. ★Excelの操作
Excelデータの部品表領域を範囲選択 [図49]

4. ★Excelの操作
右クリックでコンテキストメニューを表示

5. ★Excelの操作
「コピー」を選択 [図50]

[図47]



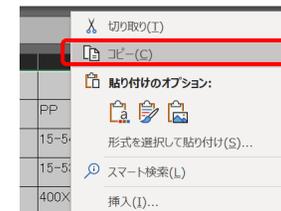
[図48]

記号	名称	個数	材質	サイズ
1	LUG SIDE UPR	1	PP	t=2.5
2	IRON CLIP	9	15-54 00061	
3	RESIN CLIP	6	15-53 00791	
4	FELT	1	400X300	t=10
5	FELT	1	500X250	t=10
6	ホットメルト	2	KE08345	
7	HOLDER PSHERF	1	POM	
8	UPR CASE	1	PP	t=8
9	LOWER CASE	1	PP	t=8

[図49]

記号	名称	個数	材質	サイズ
1	LUG SIDE UPR	1	PP	t=2.5
2	IRON CLIP	9	15-54 00061	
3	RESIN CLIP	6	15-53 00791	
4	FELT	1	400X300	t=10
5	FELT	1	500X250	t=10
6	ホットメルト	2	KE08345	
7	HOLDER PSHERF	1	POM	
8	UPR CASE	1	PP	t=8
9	LOWER CASE	1	PP	t=8

[図50]



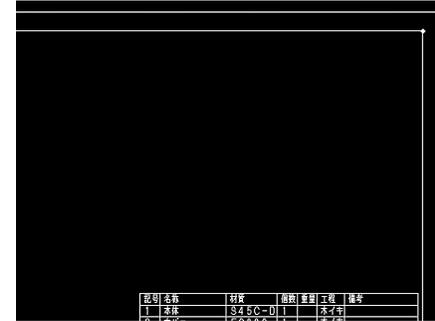
6. <注記> 【表】 【取込】

7. 「◎クリップ」 「◎右上」

8. 内側の図面枠の右上角の点をSEL [図51]

指定した位置に部品表が取り込まれます。[図52]

[図51]



[図52]

記号	名称	数量	材質	サイズ
1	LUG SIDE UPR	1	PP	t=2.5
2	IRON CLIP	9	鉄鋼	
3	RESIN CLIP	6	樹脂	
4	FELT	1	フェルト	t=10
5	FELT	1	フェルト	t=10
6	ホットメルト	2	接着剤	
7	HOLDER PSHERF	1	POM	
8	UPR CASE	1	PP	t=8
9	LOWER CASE	1	PP	t=8

図面内の部品表を切り出してExcel に貼り付けます

1. <ウィンドウ> 【2】 [図53]
2. <注記> 【表】
3. 【切出】 ◎クリップ
4. 部品表の左上（*①付近）と右下（*②付近）の2点をIND
5. Y/N（指定終了）

指定した部分がハイライト表示されます。[図54]

6. 【指定終了】
7. Y/N（切り出しを実行）

指定した範囲の表がクリップボードにコピーされます。

[図53]

*①

記号	名称	材質	個数	重量	工程	備考
1	本体	S45C-D	1		ホイキ	
2	カバー	FC200	1		ホイキ	
3	駆動軸	S45C-D	1		キ	
4	従動軸	S45C-D	1		キ	
5	歯車	S45C	2		キ	
6	パッキン	硬質ゴム	1		キ	
7	パッキン押さえ	FC200	1		ホイキ	
8	弁	S45C-D	1		キ	
9	弁ガイド	AC1A	1		キ	
10	弁ガイドカバー	FC200	5		ホイキ	
11	シートパッキン	紙	1			
12	バネ皿金	SUP6	6		ソ	
13	桶込みボルト	S45C-D	2		ソ	6X25 4.8並
14	ナットA	S25C-D	2		ソ	M6-7H
15	ナットB	S25C-D	2		ソ	M6-7H
16	グランドパッキン	石棉	4		ソ	
17	オイルカップ		1		ソ	

*②

[図54]

記号	名称	材質	個数	重量	工程	備考
1	本体	S45C-D	1		ホイキ	
2	カバー	FC200	1		ホイキ	
3	駆動軸	S45C-D	1		キ	
4	従動軸	S45C-D	1		キ	
5	歯車	S45C	2		キ	
6	パッキン	硬質ゴム	1		キ	
7	パッキン押さえ	FC200	1		ホイキ	
8	弁	S45C-D	1		キ	
9	弁ガイド	AC1A	1		キ	
10	弁ガイドカバー	FC200	5		ホイキ	
11	シートパッキン	紙	1			
12	バネ皿金	SUP6	6		ソ	
13	桶込みボルト	S45C-D	2		ソ	6X25 4.8並
14	ナットA	S25C-D	2		ソ	M6-7H
15	ナットB	S25C-D	2		ソ	M6-7H
16	グランドパッキン	石棉	4		ソ	
17	オイルカップ		1		ソ	

図面内の部品表をExcelにコピー

8. ★Excelの操作
Excelを起動

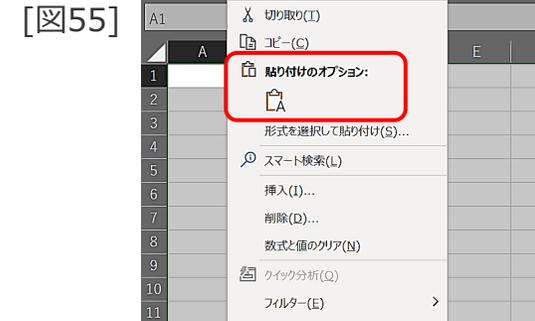
9. ★Excelの操作
空白のブックを開く

10. ★Excelの操作
適当なセルの上で右クリックでコンテキストメニューを表示 [図55]

11. ★Excelの操作
「貼り付けのオプション」「テキストのみ保持」をクリック

切出した部品表がExcelにコピーされます。 [図56]

12. ★Excelの操作
必要に応じて体裁を整える（列の幅を調整、罫線を引くなど） [図57]



[図56]

記号	名称	材質	個数	重量	工程	備考
1	本体	S45C-D	1		木イキ	
2	カバー	FC200	1		木イキ	
3	駆動軸	S45C-D	1		キ	
4	従動軸	S45C-D	1		キ	
5	歯車	S45C	2		キ	
6	パッキン	硬質ゴム	1		キ	
7	パッキン押FC200	FC200	1		木イキ	
8	弁	S45C-D	1		キ	
9	弁ガイド	AC1A	1		キ	
10	弁ガイドカバー	FC200	5		木イキ	
11	シートパッキン	紙	1			
12	パネ座金	SUP6	6		ソ	
13	挿込みボルト	S45C-D	2		ソ	6 X25 4.8並
14	ナットA	S25C-D	2		ソ	M6-7H
15	ナットB	S25C-D	2		ソ	M6-7H
16	グラウンド石綿	石綿	4		ソ	
17	オイルカップ		1		ソ	

[図57]

記号	名称	材質	個数	重量	工程	備考
1	本体	S45C-D	1		木イキ	
2	カバー	FC200	1		木イキ	
3	駆動軸	S45C-D	1		キ	
4	従動軸	S45C-D	1		キ	
5	歯車	S45C	2		キ	
6	パッキン	硬質ゴム	1		キ	
7	パッキン押さえ	FC200	1		木イキ	
8	弁	S45C-D	1		キ	
9	弁ガイド	AC1A	1		キ	
10	弁ガイドカバー	FC200	5		木イキ	
11	シートパッキン	紙	1			
12	パネ座金	SUP6	6		ソ	
13	挿込みボルト	S45C-D	2		ソ	6 X25 4.8並
14	ナットA	S25C-D	2		ソ	M6-7H
15	ナットB	S25C-D	2		ソ	M6-7H
16	グラウンドパッキン	石綿	4		ソ	
17	オイルカップ		1		ソ	



※当資料内の文章・画像・商標等（以下、「データ」）に関する著作権とその他の権利は、弊社または原作者、その他の権利者のものです。企業等が非営利目的で使用する場合、個人的な使用を目的とする場合、その他著作権法により認められている場合を除き、データは弊社、原作者、その他の権利者の許諾なく使用することはできません。

※データ等のご利用またはご利用できなかったことによって生じた損害については、弊社は一切の責任を負わないものとし、いかなる損害も補償をいたしません。

※掲載されている内容は2020年6月時点のものです。内容は、事前の予告なしに変更することがあります。

MICRO CADAM、MICRO CADAM Helix は、株式会社CAD SOLUTIONSの商標です。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。